

小学校外国語における絵本・ストーリーの活用

—教員養成課程の学生の英語力・指導力向上を目指して—

大谷 由布子

Utilizing Picture Books and Stories in English at Elementary Schools
—Towards Improving EES Pre-service Teacher Training—

OTANI, Yuko

大分大学教育学部研究紀要 第46巻第1号

2024年9月 別刷

Reprinted From

RESEARCH BULLETIN OF THE

FACULTY OF EDUCATION

OITA UNIVERSITY

Vol. 46, No. 1, September 2024

OITA, JAPAN

小学校外国語における絵本・ストーリーの活用

― 教員養成課程の学生の英語力・指導力向上を目指して―

大 谷 由布子*

【要 旨】 教員の質の向上と効果的な英語教育の実践を目指して、平成 29 年に開発された「小学校教員養成課程外国語（英語）コアカリキュラム」（東京学芸大学, 2017）は、授業実践に必要な背景的知識として「児童文学（絵本, 子ども向けの歌や詩など）」を挙げている。本稿は、小学校外国語科における英語絵本の活用に着目し、国の教材に絵本が導入された経緯を概観した後、文部科学省作成教材および検定教科書における絵本・ストーリーの扱いについて分析する。次に、これらの教材を有効に活用するには、指導者に読み聞かせの技能が求められるとして、教員養成課程の学生の英語力・指導力向上を目指して行った、読み聞かせ実践について報告する。結果から、外国語を学ぶことで期待される資質・能力と、本実践で得られた学びとの関連が明らかになり、絵本・ストーリーは児童の英語学習だけでなく、指導者の養成にも有効な教材であることを再確認した。

【キーワード】 小学校外国語 コアカリキュラム 教員養成 児童文学
絵本 読み聞かせ 外国語活動

I 小学校外国語と教材としての絵本

1 研究の背景

平成 29 (2017) 年の小学校学習指導要領の改訂を受け、令和 2 (2020) 年 4 月より、小学校高学年において「外国語」科が新設され、「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」が扱われるようになった。改訂前は、読み聞かせを通して児童が「聞く」教材として扱われた英語絵本が、改訂後は、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を「読む」ための教材としても活用できることになった。

『小学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 外国語活動・外国語編』は、「読むこと」の領域別目標の一つに

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

を掲げており、具体的には以下のように言及している。

令和 6 年 5 月 10 日受理

*おおたに・ゆうこ 大分大学教育学部言語教育講座（英語教育）

この目標は、中学年の外国語活動の「聞くこと」、「話すこと」の学習活動を通して、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにすることを示している。日常生活に関する身近で簡単な事柄について、掲示、パンフレットなどから自分が必要とする情報を得たり、絵本などに書かれている簡単な語句や基本的な表現を識別したりするなど、言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読むようにすることを示している。(文部科学省, 2018, p.78) (下線は筆者)

「読む」とは何を指すのかについて解説するとともに、教材の例として絵本を挙げ、具体的な指導のイメージを示している。

学習指導要領改訂の同年、国の委託を受け、東京学芸大学が開発した「小学校教員養成課程外国語(英語)コアカリキュラム」(以下、コアカリキュラム)は、授業実践の際必要となる、英語に関する背景的知識の一つとして絵本を挙げ、「英語で書かれた絵本や子供向けの歌や詩は、英語特有の音声を身に付け、文字と音の関係に気付く手がかりとしても活用できる」(東京学芸大学, 2017)と言及している。この点について、樋口他(2017)も、絵本は読み聞かせを通して英語特有の音・リズム・抑揚などに慣れることができ、英語の文法構造に触れることができるとして、絵本の意義について以下の6点を挙げる。1) まとまりのある英語を聞き、特有の音・リズム・抑揚に触れ、無意識に文法構造に触れる、2) イラスト、理解可能な言葉、前後関係などから、未知の表現や語彙の意味を類推・推測する力、大意をつかむ力を育てる、3) 異文化に触れ、興味関心が高まる、4) 異なる世界感や価値観に触れ、異文化の深層に触れる、5) 音と文字とのつながりに興味関心が深まる、6) メッセージ性が高く、こころの成長を助ける(樋口他, 2017, pp. 97-98)。さらに、アレン玉井(2010, 2011)は、英語を外国語として学習する日本人英語学習者にとって、絵本・ストーリーは「意味のある文脈」を提供する、とその価値を指摘し、Shin and Crandall は、同様に、絵本を活用した読み聞かせは、1) 子どもたちを物語の世界に引き込み、2) 新しい言語表現や語彙を楽しく提示し、3) 実際に言語が使われるコンテキストを提示するとともに、4) テーマを考える際の基礎として活用することができる、として“storytelling is most beneficial for young learners of English”(2014, p. 210)と結論付ける。

これらの議論が示すように、英語絵本には高い教育的利用価値があり、日本でも小学校外国語の教科化以前から、教材として取り入れられてきた。しかし、絵本を活用して英語学習を促進するには、指導者の豊かな表現力、英語力、そして授業を構成する力が必要になる。よってその活用は限定的で、主教材として扱われにくい傾向にあった。これを最初に体系的に取り入れたのが、教科化に向けて国が開発した、小学校外国語教材『We Can!』ということになる。この教材について、松井は「英語絵本がテキスト教材の一部となったことは、ある程度まとまった英文で構成されている英語絵本が、小学校で行われる英語教材の一つとしてふさわしいと認められた」(2020, p.76)と指摘する。本論文では、次に、英語絵本が教材として取り入れられるようになるまでの経緯についてまとめ、さらに、国の教材および検定教科書におけるストーリーの扱いについて整理する。なお、本稿では「絵本」は独立した教材としての冊子体を表しており、教科書や教材の中に収録された物語や読み物については、「ストーリー」と分けて表記している。

2 小学校外国語の教材に絵本が導入された経緯

小学校外国語の教科化に伴う教材開発は、平成 25（2013）年 12 月に文部科学省が公表した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に端を発している。この計画に基づき、翌年 2 月には「英語教育の在り方に関する有識者会議」が設置され、英語教育の方向性について検討が行われた。この会議では、小学校における英語教育の具体的な指導体制や教材の在り方について、専門的な議論が交わされた。

その後、平成 26（2014）年 9 月には「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～」が上記委員会により報告され、これを受けて文部科学省が新たな小学校英語教育の実施に必要な補助教材の開発を決定する。

この教材は、高学年用と中学年用に分けられ、平成 27 年度から試用が始まった。高学年用の教材『Hi, friends! Plus』は、CD-ROM、ワークシート、活動事例集から成り、この中に「This is ME!」と「A Letter to …」の 2 つのストーリーが収録されている。「This is ME!」は、自尊感情をテーマにしており、児童のやりとりを中心に物語が展開される。「A Letter to …」は、動物たちが追いかけながら遊ぶシーンで、(The lion) is chasing (the dog). という表現が繰り返され、日英語の文構造の違い、特に語順の違いへの気付きを視覚的に促す内容となっている。総語数は、「This is ME!」が 160、「A Letter to …」が 110、どちらも 16 頁で構成されている。

翌年開発された、中学年用の教材『Hi, friends! Story Books』は、2 種類の絵本（教室用大型絵本・児童用小型絵本）と音声 CD（チャンツと読み聞かせの音声を収録）で構成される。第 3 学年用『In the Autumn Forest』は、「森の中で動物たちがかくれんぼをして遊んでいる場面設定」となっており、動物の特徴を手掛かりに、その動物を認識するような話の展開（文部科学省、2016 a）において、「相手のことについて尋ねたり、自分のことについて話す表現に慣れ親しんだりするとともに、日本語と英語の音声の違いに気付き、積極的に自分のことについて伝えようとすることをねらい」（文部科学省、2016 a）としている。一方、第 4 学年用『Good Morning』は、「男の子が起床から就寝までの自分の一日を友達に紹介する場面設定」となっており、「挨拶や感情表現、日課や学校生活用を扱ったまとまりのある話を聞いて、児童がその概要を理解し、動作を表す簡単な語句や表現を使って、自分のことについて伝えようとすることをねらい」（文部科学省、2016 a）としている。どちらも 32 頁構成で、総語数は前者が 277、後者が 167 と、ある程度のまとまりのあるストーリーが展開されている。これらの補助教材は、「英語教育強化地域拠点事業」の研究開発学校および、教育課程課研究開発学校に配布され、2 年間の試用期間を通じてその効果が検証された。



図 1 : 『Hi, friends! Plus』(2015) と 『Hi, friends! Story Books』(2016 b, 2016 c)

3 新しい学習指導要領に対応した教材の開発

平成 28 (2016) 年 5 月に設置された「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会」は、高学年向けの『Hi, friends! Plus』と中学年向けの『Hi, friends! Story Books』の検証を行った。ここから得られた成果を基に、小学校における外国語教育の実施の早期化・教科化に適した新教材の基本的な作成方針と内容が検討されることとなった。

「英語教育強化地域拠点事業」における取組から得られた報告には、以下のような内容が挙げられている。まず、児童に英語の語順に関する気付きが見られ、英語を視覚化して示すことで、読み方や単語のつながりに意識を向けるようになったことが示された。また、抑揚や強勢への意識が高まり、英語をアウトプットすることに自信を持つ児童が増加した点も注目される。さらに、日本語と英語の発音や文構造の違いに気付くことで、児童の言語学習意欲が高まったことについても報告されている。このような英語教育が国語学習への意欲を促進し、中学校での論理的な学習への移行を支援する可能性も指摘された(文部科学省, 2017 a, 2017 b, 2017 c)。

上記検証結果をふまえ、平成 29 (2017) 年に改訂された小学校学習指導要領の下、新たな外国語教育において使用される教材が開発されることになる。これは、新学習指導要領に即した教材を、教科書発行者が提供するまでの移行期間において、教育の質の向上と学習環境の改善を目指して国が主導で展開するものであった。こうして作成された小学校外国語教材が『We Can!』である。

『We Can!』は、ユニットを通じて「聞くこと」「話すこと」から始まり、十分に音声に触れた後に「読むこと」「書くこと」へと展開し、最後の「STORY TIME」で一つの単元が集結するという構成になっている。本稿では、このストーリー部分に着目する。「STORY TIME」は、各学年とも 1 頁ずつ 9 話が収録されており、5 年生は各単元のテーマと学習事項に関連した内容が、6 年生は英語特有の音や文字と音の関係に気付かせる内容が扱われている。文部科学省は、この「STORY TIME」について、「英語の自然な音声を繰り返し聞き、その意味を絵を手掛かりに推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりする。また同じ韻を踏む単語を続けて聞くことで、文字と発音の関係に気付く」(2017 d)としている。総語数は、5 年生が 158 で 1 頁あたり 15~21 語、6 年生が 295 で 1 頁あたり 26~40 語と、児童が少しずつまとまった文字言語に触れるように、スモールステップで読む活動へと展開している。

こうして作成された『We Can!』は、平成 30 (2018) 年度からの 2 年間の移行期間において、全国の小学校で使用されたことは周知のとおりである。

4 小学校外国語の検定教科書と絵本・ストーリー

移行期間の終了と共に役目を終えた『We Can!』に代わり、令和 2 (2020) 年度からは 7 社の教科書発行者による 14 種類の小学校外国語科用教科書が使用されるようになった。それぞれの教科書は、『We Can!』の流れを踏襲しつつも、各社が独自の工夫を凝らした内容となっている。本研究は、その中のストーリーに注目し、主な内容(題目、頁・語数、活用方法)を表 1 にまとめる。なお、ここでは読む活動のみを分析の対象にしており、読み書きの活動は含めていない。また、教科書の内容のみを分析しており、ピクチャーディクショナリーの内容については、今回の調査対象から除外している。

表 1 令和 2 年度小学校外国語科用教科書におけるストーリーの扱い

出版社/書名	第 5 学年用図書	第 6 学年用図書
開隆堂出版 <i>Junior Sunshine</i>	[その他] 単元のテーマに関連した「十二支の物語」が扱われているが、文字はなくイラストのみ	[その他] 単元のテーマに関連した「七夕の物語」が扱われているが文字はなくイラストのみ [My Favorite Story] 「大きなかぶ」(2 頁, 10 語) 物語を聞く、後に続いて言う、物語の続きを考える
学校図書 <i>JUNIOR TOTAL ENGLISH</i>	[Shaggy's Story] (17~35 語/頁, 計 10 頁 237 語) 単元の学習事項をストーリーで読む	[Shaggy's Story] (17~45 語/頁, 計 10 頁 332 語) 単元の学習事項をストーリーで読む
教育出版 <i>ONE WORLD Smiles</i>	[Let's Read and Act] “A Good Idea!” (1 頁, 35 語) 絵を見ながら聞き、物語の流れを追う	[Let's Read and Act] “A Great Idea!” (1 頁, 53 語) “The Letter” (4 頁, 120 語) 絵を見ながら聞き、物語の流れを追う、手紙を読む・書く
三省堂 <i>CROWN Jr.</i>	[Story] “The North Wind and the Sun” (1 頁, 10 語) “Twelve Months” (計 2 頁 16 語) “The Happy Prince” (1 頁, 13 語) お話を考えながら聞く [Enjoy Reading] (10~27 語/頁, 計 5 頁 93 語) 文字を追いながら聞く、読めるところは読む	[Story] “Gulliver's Travels” (1 頁, 7 語) “The Blue Bird” (計 2 頁 16 語) “Mary Had a Little Lamb” (1 頁, 5 語) お話を考えながら聞く [Enjoy Reading] (16~24 語/頁, 計 7 頁 136 語) 文字を追いながら聞く、読めるところは読む
啓林館 <i>Blue Sky elementary</i>	[Story] “Who's Behind Me?” (4 頁, 54 語) 絵を見ながら物語を聞き内容を考える	[Story] “The Very Big Turnip” (4 頁, 102 語) 絵を見ながら物語を聞き内容を考える
東京書籍 <i>NEW HORIZON Elementary English Course</i>	[Story Time] “A Bundle of Sticks” (1 頁, 36 語) 絵を見ながら物語を聞く、ロールプレイをしてもよい	[Story Time] “Butterfly Friends” (2 頁, 50 語) 絵を見ながら物語を聞く、読む [その他]おすすめの英語絵本を紹介
光村図書 <i>Here We Go!</i>	[英語の物語] “The Gingerbread Man” (1 頁, 47 語) 音声聞いて物語を楽しむ、物語の展開を考える、音声の後について言う	[英語の物語] “The Rolling Rice Ball” (1 頁, 57 語) “Kurikindi” (1 頁, 13 語) 音声聞いて英語のリズムを楽しむ、音声の後について言う、内容について考える

表 1 が示すように、ストーリーの扱いは教科書によって異なり、イラストのみで文字を伴わないもの、毎単元学習事項を文字で読むことが期待されるものまでさまざまである。その内容は、国内外の伝統的な話、オリジナルストーリー、日英語の文構造の違いを扱っているものな

どがあるが、共通する点としては、どの教科書にも QR コード等を活用した音声や動画が付属しており、中島が指摘するように、「音声を大切にした言語活動を意識した構成」(2022, p. 9) になっていると言えよう。

文部科学省検定済教科書は、通常 4 年ごとに改訂の機会があり、内容の更新が行われる。令和 6 (2024) 年度は、令和 2 年度より 1 社少ない 6 社から 12 種類の小学校外国語科用教科書が作成された。令和 2 年度版と同様に、そのストーリーの主な内容を表 2 にまとめる。

表 2 令和 6 年度小学校外国語科用教科書におけるストーリーの扱い

出版社/書名	第 5 学年用図書	第 6 学年用図書
開隆堂出版 <i>Junior Sunshine</i>	[Story Time] (32~58 語/頁, 計 8 頁 349 語) 単元の学習事項をストーリーで読む	[Story Time] (36~59 語/頁, 計 8 頁 398 語) 単元の学習事項をストーリーで読む
教育出版 <i>ONE WORLD Smiles</i>	[Let's Read and Act] "A Good Idea!" (1 頁, 35 語) 絵を見ながら聞き, 物語の流れを追う	[Let's Read and Act] "A Great Idea!" (1 頁, 53 語) "The Letter" (4 頁, 120 語) 絵を見ながら聞き, 物語の流れを追う, 手紙を読む・演じる
三省堂 <i>CROWN Jr.</i>	[ケンの冒険] "Hello, Pam!" (1 頁, 43 語) "World Travel" (1 頁, 50 語) 単元の学習事項をストーリーで読む [世界のお話] "The North Wind and the Sun" (1 頁, 12 語) "The Golden Ax" (1 頁, 7 語) "The Mitten" (1 頁, 7 語) お話を聞く, 会話部分を読む	[ケンの冒険] "Time Travel" (1 頁, 43 語) "Space Travel" (1 頁, 41 語) "See You Again" (1 頁, 40 語) 単元の学習事項をストーリーで読む [世界のお話] "Gulliver's Travels" (1 頁, 9 語) "The Lion and the Mouse" (1 頁, 15 語) "The Story of a White Horse" (1 頁, 6 語) お話を聞く, 会話部分を読む
啓林館 <i>Blue Sky elementary</i>	[Story] "Look at the Sky" (4 頁, 86 語) 物語の内容を推測して読む	[Let's Read] (32~69 語/頁, 計 3 頁 152 語) [Story] "King Midas" (4 頁, 143 語) 物語の内容を推測して読む, 内容について考える
東京書籍 <i>NEW HORIZON Elementary English Course</i>	[その他] 読み物の掲載はなく Sounds & Letters として文字と音が扱われるのみ	[Sounds & Letters] (計 4 頁 154 語) 読むことにチャレンジする, 内容を推測する
光村図書 <i>Here We Go!</i>	[英語の物語] "The Gingerbread Man" (1 頁, 11 語) "Yes, you can." (2 頁, 44 語) 気持ちを込めて読む, 内容について考える	[英語の物語] "Kurikindi" (2 頁, 35 語) 気持ちを込めて読む, 内容について考える [その他]おすすめの英語絵本紹介

令和 6 年度版は 1 社をのぞき、読み物の扱いに改訂が加えられた。その方向性としては、音声で十分に慣れ親しんだ英語を文字言語として読むためのものと、話の内容を楽しむためのものとに分かれる傾向が顕著になった。前者は各単元で学習した内容が比較的長めの英文で、後者は日常の会話でよく耳にするような語句や短い表現が扱われている。また、物語の内容だけでなく、その背景について考えさせたり、他教科の学習に関連した内容を読んだり、世界の諸問題について考えさせたりと、ストーリーの活用に広がりと深まりが見られる。読むこと、書くことが本格的に導入されてから 4 年が経過し、読むための教材の充実が図られたと言えよう。

次に求められるのは、こういった教材を活用する力であり、英語で表現する力である。コアカリキュラム (2017) が示すところの「絵について児童に考えさせたり、概要について質問したり、思ったことや感じたことを表現させたりする読み聞かせの技術」であり、「文字と音、その音 (音素) の特徴」(東京学芸大学, 2017) を身に付けることである。英語絵本の読み聞かせは、聞き手に伝わるように読む活動として英語力の向上に期待できる (城一, 2015)。こういった背景を受け、本研究では、教員養成課程の学生の指導力・英語力向上を目指して、絵本を活用した実践を行った。

Ⅱ 教員養成課程における絵本を活用した実践

1 実践について

協力者：教育学部の 2 年生を中心とした「外国語指導法 (小)」を受講する 132 名

実践日時：令和 5 (2023) 年 12 月

使用教材：総語数が 300 語程度の児童向け絵本 (頁あたりの総語数は 15~20 語程度)

分析方法：活動終了後の振り返り記述による質的データの分析

2 実践方法

協力者は小グループに分かれ、15 分の活動時間内に順番に読み聞かせを行った。読み聞かせの技術には、絵本の提示方法や頁のめくり方等も含まれるため、教科書ではなく、数種類の絵本を活用し、「頁当たりの語数が多すぎず絵は分かりやすく意味理解のヒントになる」(樋口ら, 2019) の観点からストーリーを選択した。事前に教材の解説や演習は行わず、終了後に活動を通じた自身の気づきや学びを中心に、習得すべき知識・技能についても省察するよう指示した。



図 2：読み聞かせ実践の様子

3 実践結果

図2からは多様な取組の様子が見てとれる。絵本を自分に向けて音読する読み手もいれば、絵を指し示しながら読んだり、声や表情で登場人物を演じ分けるなど、読むスタイルも一様ではない。また、表紙だけを用いて **Small talk** から始めたり、読み手が聞き手を巻き込んで共同で読む **Co-reading** を展開したり、音声で慣れ親しんだ会話を聞き手に読ませ、読み手が本文を読む **Shared reading** に発展させるなど、グループによって工夫が見られた。これらの多様なアプローチは、個々の読み手が自らの経験や能力に合わせて読み聞かせを実施したことを示唆していると考えられる。

活動終了後、協力者が Moodle (学習管理システム) に入力した振り返りのテキストデータをもとに、KH Coder 3 (樋口, 2020) を用いて共起キーワード分析を行った。

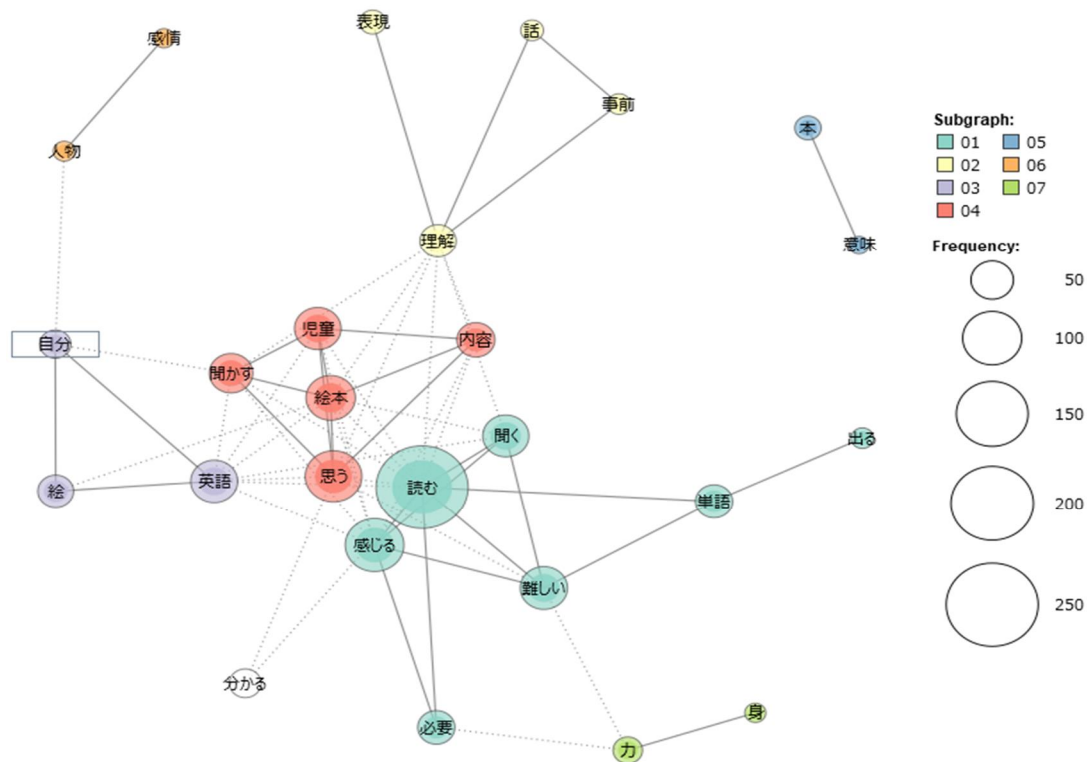


図3：活動終了後の振り返りにおける共起キーワード分析

共起キーワード分析は、出現回数が多い語ほど大きく示され、共起の程度は強いと実線，弱いと破線で表示される。今回、最も出現回数が多かったのは「読む」で、「聞く」より約2倍の頻度を示し、「難しい」「感じる」「単語」等7つの抽出語と共起している。「児童」「絵本」「内容」「聞かす」「思う」で形成されるカテゴリー、「自分」「英語」「絵」で形成されるカテゴリーともに共起の程度が強く、さらに前出のカテゴリーとも相互に関連し合っている。加えて、「理解」「事前」「話」「表現」のカテゴリー、「人物」と「感情」のカテゴリー、「本」と「意味」のカテゴリー、「身」と「力」のカテゴリーが示される等、今回の実践において協力者が、読むことをどのように捉え、表現方法について思考し、気づきや学びにつなげたかを視覚的に見取ることができる。

次に協力者の振り返り記述について、AIによる文書要約をしたところ、表3のように示された。

表3 活動終了後の振り返り記述の要約

- ・ 絵本は小学校の外国語授業に適しており、ジェスチャーや抑揚を意識することで効果的な読み聞かせができると感じた。
- ・ 読み聞かせを行う際には、教えたいポイントや強調したい英単語をあらかじめ考えておくことで、効果的な読み聞かせができると思った。
- ・ 絵本を通じて英語を親しむことができると考え、児童に読み聞かせを行う際には、絵と文を組み合わせることで注意を引く工夫が必要だと感じた。
- ・ 絵本の中の英単語は難しいものもあったが、声を出しながら読むことで児童の関心を引くことができると思った。
- ・ 絵本を繰り返し読むことで児童が英語力をつける手助けになると感じ、絵本を読む際には表情豊かに話すことや目を見て話すことが大切だと考えた。
- ・ 読み聞かせを通じて、児童とコミュニケーションを取りながら問いかけることで、児童の理解を深めることができると感じた。
- ・ 初めての読み聞かせは難しかったが、また挑戦したい。

これらの省察から、本実践を通して自身の英語面での課題や、効果的な読み聞かせ方法について気づきが深まり、相手意識、つまり読み聞かせの対象となる児童の存在を意識することで、読み聞かせの技能や表現方法を見直すことにつながったと分析する。また、コミュニケーション面での気づきや、今後の学習についての意欲も示唆された。

4 考察

本研究における読み聞かせ実践において、協力者に得られた気づきは以下の3点に集約される。

- 1) 効果的な読み聞かせ・児童の興味や関心を引く方法・表現方法
- 2) 英語の音声的な特徴・コミュニケーションに関する気づき
- 3) 読み聞かせをする対象への配慮、主体的に取り組もうとする態度

上記を小学校外国語において育成を目指す資質・能力と照らし合わせると、1)は〈思考力・判断力・表現力等〉、2)は〈知識・技能〉、3)は〈学びに向かう力・人間性等〉と関連する。外国語を学ぶ児童が身に付けることを期待される力が、教員を目指す学生にも再確認・再構築されたということができよう。

コアカリキュラムの示すモデルプログラムは、限られた時数で広範な内容を扱う。よって、今回のような実践を授業内で繰り返し行うことは難しいが、模擬授業や実習に取り入れる等、継続的に取り組むことができれば、自身の英語に関するメタ認知的気づきや、効果的な読み聞かせ方法について学習方略の見直しにつなげることができるだろう。今年度は他教科の指導法と関連させ、絵本を活用した教育実践を予定している。今後もさまざまな可能性について検討し、学生の指導力・英語力の向上につなげていきたい。

Ⅲ まとめと今後の展望

本稿は、小学校外国語における教材としての絵本の活用について議論してきた。教科化に伴い、絵本やストーリーは「聞く」ため、および「読む」ための教材として体系的に取り入れられるようになったが、このことは、指導者に読み聞かせ技術の習得が求められることを意味する。したがって、教員養成課程の学生を対象に、外国語指導の一環として絵本を活用した実践を行ったところ、効果的な読み聞かせを行うための技術、英語の特徴、聞き手への配慮など、表現面、英語面、指導面における気付きが見られた。英語絵本は、児童にとって優れた教材になるだけでなく、指導者の養成にも有効な教材となることを再確認することができた。

最後に、今後の検討課題について述べる。まずは、絵本の選択である。今回は学習者用リーダーを活用したが、絵本の読み聞かせのような活動では、題材や内容が児童の発達段階や興味・関心に合い、主たる語彙や表現が児童の学習段階に合うもの（樋口他，2019）を選択することが重要になる。指導者には、児童文学や絵本、学習者言語への理解を深め、適切な教材を精選する目を養うことが期待される。次に、豊かな「読む」活動の積み重ねを挙げる。学習指導要領は「言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読む」ことを求めている（文部科学省，2018，p.78）が、このことは、場面や前後関係、目的や意味を関連させて、使われている文字言語を児童が推測して理解することを意味する。教室でいかにコンテキストを提示し、上質かつ精選したインプットを豊かな表現力により展開し、児童の理解につなげるか、教師の力量にかかっている。難しく聞こえるかもしれないが、これらの課題への答えは、今回の読み聞かせ実践の中に見て取ることができたように思う。

参考文献

- アレン玉井光江（2010）.『小学校英語の教育法 理論と実践』.大修館書店.
- アレン玉井光江（2011）.『ストーリーと活動を中心とした小学校英語』.小学館集英社.
- 大津里香（2020）.「英語絵本の読み聞かせ活動―読み聞かせる側である大学生への影響―」.『茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究』.第3号, 79-93.
- 開隆堂出版株式会社（2020）.『Junior Sunshine 5』.
- 開隆堂出版株式会社（2020）.『Junior Sunshine 6』.
- 開隆堂出版株式会社（2024）.『Junior Sunshine 5』.
- 開隆堂出版株式会社（2024）.『Junior Sunshine 6』.
- 粕谷恭子他（2021）.「英語教員養成コアカリキュラムの検証と具体的・包括的プログラムの開発」.
- 東京学芸大学ホームページ Retrieved from: <https://www2.u-gakugei.ac.jp/~coretgu/>
- 学校図書株式会社（2020）.『JUNIOR TOTAL ENGLISH 1』.
- 学校図書株式会社（2020）.『JUNIOR TOTAL ENGLISH 2』.
- 教育出版株式会社（2020）.『ONE WORLD Smiles 5』.
- 教育出版株式会社（2020）.『ONE WORLD Smiles 6』.
- 教育出版株式会社（2024）.『ONE WORLD Smiles 5』.
- 教育出版株式会社（2024）.『ONE WORLD Smiles 6』.
- 三省堂（2020）.『CROWN Jr. 5』.
- 三省堂（2020）.『CROWN Jr. 6』.
- 三省堂（2024）.『CROWN Jr. 5』.
- 三省堂（2024）.『CROWN Jr. 6』.

- 城一道子 (2015). 「英語絵本の読み聞かせに対する学生の態度—教員養成課程における試み—」. 『教育総合研究: 江戸川大学教職課程センター紀要』. 第 3 号, 1-10.
- 新興出版啓林館 (2020). 『Here We Go! 5』.
- 新興出版啓林館 (2020). 『Here We Go! 6』.
- 新興出版啓林館 (2024). 『Here We Go! 5』.
- 新興出版啓林館 (2024). 『Here We Go! 6』.
- Shin, J. K. and Crandall, J (2014). Teaching Young Learners English from Theory to Practice. National Geographic Learning, Boston. MA.
- 東京学芸大学 (2017). 「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業 平成 28 年度報告書」.
- 東京書籍株式会社 (2020). 『NEW HORIZON Elementary English Course 5』.
- 東京書籍株式会社 (2020). 『NEW HORIZON Elementary English Course 6』.
- 東京書籍株式会社 (2024). 『NEW HORIZON Elementary English Course 5』.
- 東京書籍株式会社 (2024). 『NEW HORIZON Elementary English Course 6』.
- 中島眞吾 (2022). 「小学校外国語科における絵本や物語の活用に関する一考察 —検定教科書の分析を中心に—」『中部大学リベラルアーツ論集』. 第 4 号, 1-10.
- 樋口耕一 (2020). 「KH Coder 3」. Retrieved from: <https://kncoder.net/>
- 樋口忠彦・加賀田哲也・泉恵美子・衣笠知子 (2017). 『小学校英語教育法入門』 研究社.
- 樋口忠彦・泉恵美子・加賀田哲也 (2019). 『小学校英語内容論入門』 研究社.
- Pearson Education Limited (2020). Pearson English Kids Readers Level 2, Harlow. England.
- 松井千代 (2020). 「小学校外国語「読むこと」における英語絵本 —教材としての価値と、学生による教材選定の視点の獲得について—」, 『愛知淑徳大学教職課程 学び舎』 (16), 75-85.
- 光村図書出版株式会社 (2020). 『Blue Sky elementary 5』.
- 光村図書出版株式会社 (2020). 『Blue Sky elementary 6』.
- 光村図書出版株式会社 (2024). 『Blue Sky elementary 5』.
- 光村図書出版株式会社 (2024). 『Blue Sky elementary 6』.
- 文部科学省 (2014). 「今後の英語教育の改善・充実方策について ～グローバル化に対応した英語教育改革の 5 つの提言～ (報告)」. 英語教育の在り方に関する有識者会議資料 (平成 26 年 9 月 26 日) .
- 文部科学省 (2015). 『Hi, friends! Plus』.
- 文部科学省 (2016 a). 『次期学習指導要領に向けた指導力向上のための文部科学省作成補助教材等について』. 文部科学省初等中等教育局国際教育課 (平成 28 年 11 月) .
- 文部科学省 (2016 b). 『Hi, friends! Story Books』 (『In the Autumn Forest』) 文溪堂.
- 文部科学省 (2016 c). 『Hi, friends! Story Books』 (『Good Morning』) 文溪堂.
- 文部科学省 (2017 a). 「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会の設置」 Retrieved from: https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/02/07/1381875_1_2.pdf
- 文部科学省 (2017 b) 「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会 検証結果」 Retrieved from: https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/02/07/1381875_3_1.pdf
- 文部科学省 (2017 c) 「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会 効果の検証」 Retrieved from: https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/02/07/1381875_4_1.pdf
- 文部科学省 (2017 d) 「新学習指導要領対応小学校外国語教材『We Can!』について」 Retrieved

from: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryu/_icsFiles/afieldfile/2017/11/24/1398488_6.pdf

文部科学省 (2018). 『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 外国語活動・外国語編』. 開隆堂出版株式会社.

文部科学省 (2019 a). 『新学習指導要領対応小学校外国語教材 We Can! 1』. 東京書籍株式会社.

文部科学省 (2019 b). 『新学習指導要領対応小学校外国語教材 We Can! 2』. 東京書籍株式会社.

(2024 年 7 月 19 日学内審査終了)

Utilizing Picture Books and Stories in English at Elementary Schools :

Towards Improving EES Pre-service Teacher Training

OTANI, Yuko

Abstract

This study examined the use of picture books as teaching materials in English at elementary schools (EES) in Japan. Picture books and stories have been used in EES textbooks produced by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) and in MEXT-authorized textbooks, which means that pre-service teachers need to develop the skills in story telling or reading aloud. Reflecting this trend, this study examined part of the teacher training programs using the above materials. The results indicated that the use of picture books enhanced practical knowledge expected in EES classes as well as self-regulation skills among participants. Further research aimed at realizing more effective reading in EES classrooms should be accumulated and put into practice.

【Key words】 English at Elementary Schools (EES), Core Curriculum, Pre-service Teacher Training, Children's Literature, Picture Books, Reading Aloud, Foreign Language Activities